

5年生 南崎校外学習

5年生は、総合の学習で「母島の自然を守る人々」をテーマに南崎校外学習に行ってきました。11月14日（月）の事前学習では、小笠原自然文化研究所（I-Bo）の方から、小笠原の貴重な自然環境やその環境を守る取り組み、いまだ多くの自然が残されている南硫黄島の上陸調査の様子について教えていただきました。授業の最後には、オナガミズナギドリの鳴き声を聞かせていただき、「南崎で実際に鳴き声を聞いてみたい！」と子供たちは校外学習への期待を高めていました。



11月17日（木）は晴天の中、校外学習を実施することができました。出発前には、実際にねこカゴを背負わせていただいたり、ねこを映すカメラの映像を見せていただいたりしました。南崎には、ねこカゴが28個置いてあると聞いた子供たちは、「隠れているねこカゴを探そう！」と周りをよく観察したり、講師の方にたくさん質問したりして、楽しく学びながら南崎海岸まで行くことができました。南崎海岸からねこ柵までは、険しい山道を登っていきました。今回、特別な許可をいただき、ねこ柵の中にあるオナガミズナギドリの営巣地に案内してもらいました。巣の中にいるオナガミズナギドリのヒナを間近で観察することができました。

今回の学習では、小笠原の自然を守る人々の様々な取り組みや思いを知ることができ、自分たちも母島の自然を守っていきたいという気持ちをもつことができました。

